

核兵器全面禁止条約への調印・批准を

香川県原水協ニュース

No.

277

2025年5月23日

原水爆禁止香川県協議会

電話・FAX087-831-5350

東讃地区の行進始まる！！

朝から打って変わっての天気になりました。今日から東讃での行進が始まります。今日は三木町です。伊藤義春町長は核戦争の危機が実感させる中での出発式ですが、みんなで合唱した「青い空は」は学生時代によく歌っていてよいことと歌詞に触発されて切り出し。印パ紛争は民族紛争のむつかしさだが、停戦はよかった。しかし、ウクライナとガザはなかなか収まらない。一人ひとりが気持ちをしっかり持ってバーチャルと現実をしっかりと直視する必要、特に小学生時代の平和教育が大事と、三木町の広島研修を誇り挨拶。市原信夫議長は、元職員の長尾昭雄（てるお）さんが16歳のときに広島で被爆した話を聞いて「戦争は起こしてはいけない」を肝に銘じたと強調。また間嶋浩教育長は、長尾さんの話は2回聞いたと、小学生の広島研修を実施していると強調。岩部乃之県原水協筆頭代表理事は、今日も一日歩いての行進で、粘り強く草の根で頑張ることで戦争も核もなくそうと呼びかけました。

終結集会で北原協同病院の院長は、ノーベル平和賞もあるが、核廃絶はまだ遠い。市民の間では貴重な運動で地道に頑張ろう。明日は市中行進にも参加し、署名行動もすると決意表明して挨拶としました。岩部筆頭代表理事は、ノーベルの作った平和賞に被爆者が受賞したが、その初めての年の四国大会は今年香川県でおこなわれるし、広島・長崎の世界大会にも多くの参加で成功させようと呼びかけました。



三木町で町長ら三役と
出発集会で「青い空は」をみんなで合唱



協同病院での終結集会、「青い空は」
で締めました